



フードバンクから見える食の格差

～誰もが食を分かち合える社会へ～

2022年3月10日

米山 けい子

認定NPO法人フードバンク山梨 理事長
食品ロス削減推進会議 委員

食のセーフティネット事業の仕組み



世帯に合わせた食品の箱詰め

2020年度はのべ**4,023**世帯へに約**38**トンの食品を発送



- ・ 毎月2回、ボランティアと共に食品を梱包し、配送
- ・ 個人別ファイルの家族構成にあわせて食品箱詰めを実施

お渡しする食品の例

世帯によってお送りする食品は異なり、1つ1つ心を込めて箱詰めを実施



お菓子が沢山入った家族用の箱



乳児のためのミルクや離乳食が入った箱

箱の重さ：1～2人世帯は平均7kg、3人以上の世帯は12kg

食品を送った方からの返信ハガキ

品物が届きました。当日私は前日から続く偏頭痛で伏せていました。孫は朝から玄関にハンコを用意して待っていました。

ここに書くのは恥ずかしいのですが、ここ数年ほんとに大変な思いをしました。2年前、1日に豆腐1丁しか食べさせることが出来なかった時がありました。体の大きな孫は空腹で眠れずに夜中にフト気付くと台所でボーッと立ちすくんでいました。その姿は、今でも忘れる事が出来ません。今皆さまにこうして助けていただいて本当に感謝しています。

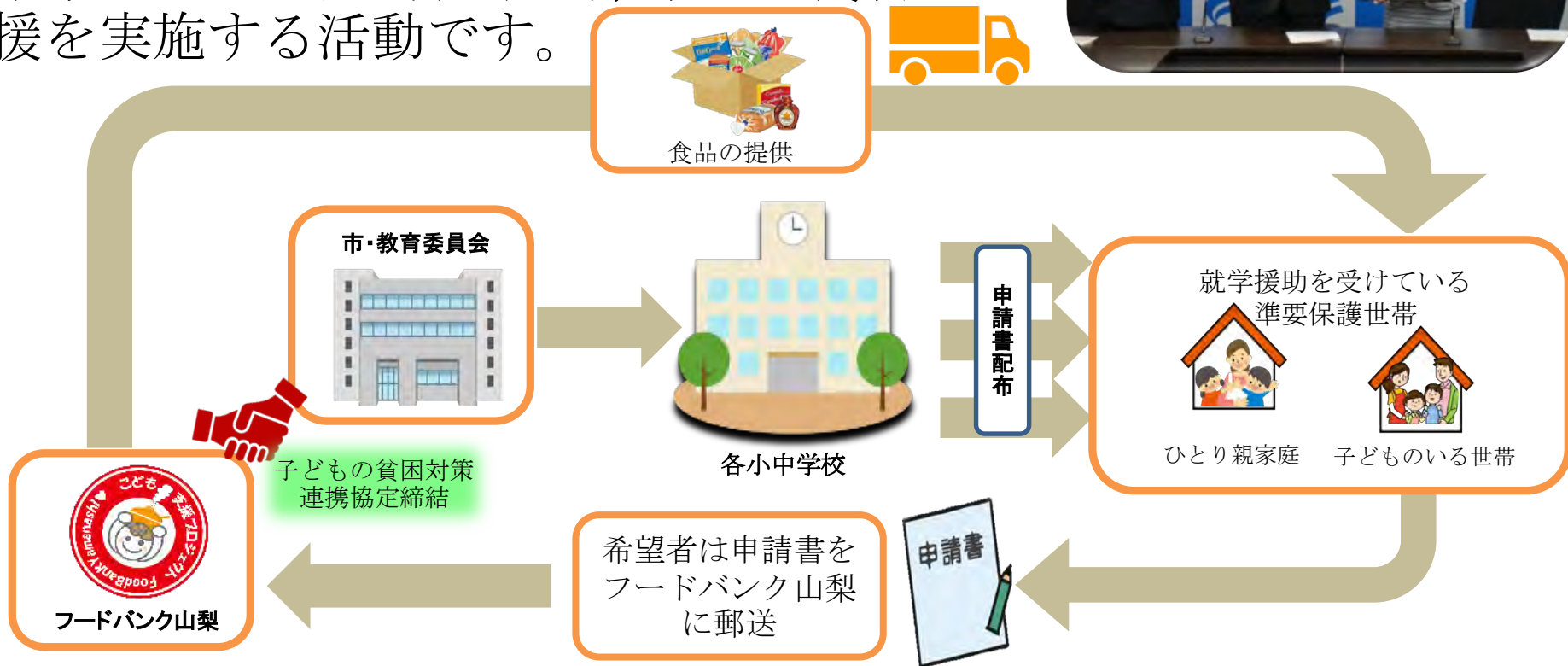
(祖母と孫の二人暮らし)



行政・学校・NPOが連携して子どもの貧困対策に取り組む活動

フードバンクこども支援プロジェクトとは

夏休み・冬休みの給食のない期間に、小中学生のいる困窮世帯に集中的に食料支援を実施する活動です。



フードバンク こども支援プロジェクト (KSP)

子どもからの手紙

あけた時にいつもにこにこしてしまいます。
私も人を助ける仕事や人の約にたつ仕事にしょうらいつきたいです。
フードバンクのみなさん、いつも、いつも届けていただき本当にありがとうございます。
ございます。



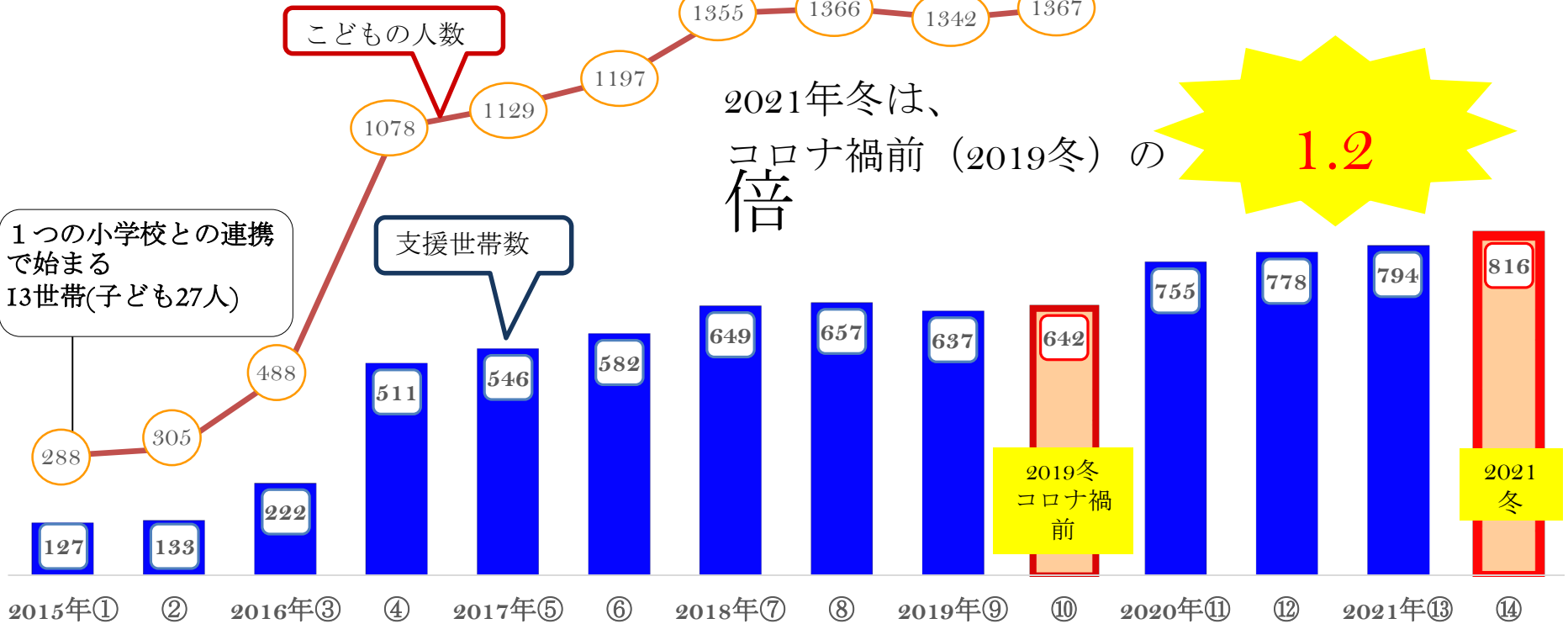
フードバンク子ども支援プロジェクト利用世帯数推移

2015年～2021年

延べ20, 655人の子ども

12, 254世帯へ支援

中央市・南アルプス市・笛吹市・山梨市・都留市・大月市・上野原市・昭和町・身延町・山中湖村の学校と、市町村生活相談窓口から申請受付



1つの小学校との連携で始まる
13世帯(子ども27人)

支援世帯数

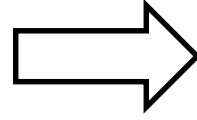
子どもの人数

2019冬
コロナ禍前

2021冬

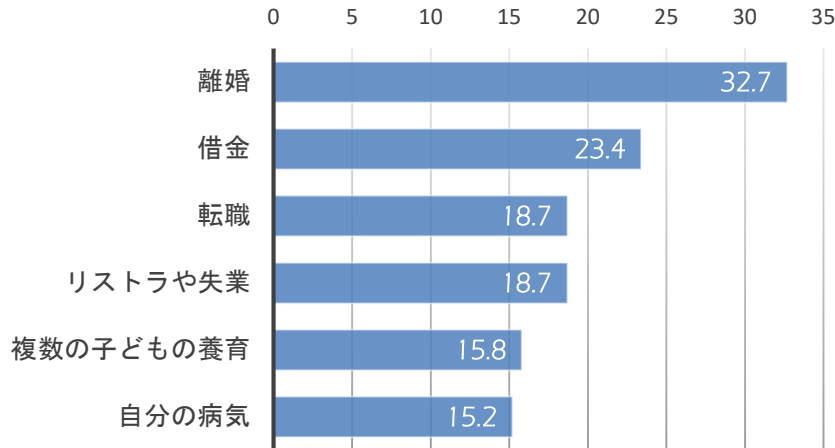
乳幼児応援プロジェクトの始まりは利用者アンケート (2016年)

経済的困窮
早い時期から深刻

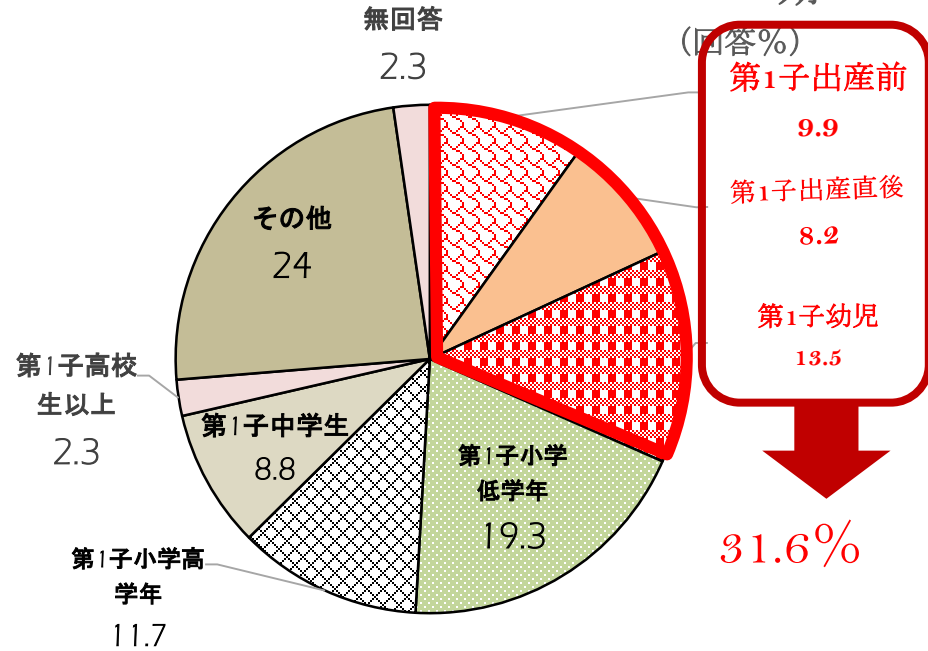


出産、幼児期が 3割

経済的に生活が苦しくなったきっかけ
(回答%)



経済的に苦しいと感じるようになった時期



- 経済的に苦しいと感じるようになった時期は「乳幼児期から」という回答が31.6%
- オムツやミルクが不足した経験「あった」と答えたのは41.5%
- 「自殺したいと思った」と答えたのは22.2%

保育士へのアンケート調査の記述欄から

衣類がカビている。サイズのあっていないものを着ている。着替えていない（何日も）

500円前後の集金を「月末まで待ってほしい」と言われる。

お風呂に入っていない。虫歯が多い。病気やケガの手当てができていない。

食べることに執着することが多く、床に落ちている(他の子が落としたもの)ものまで食べようとしていた。

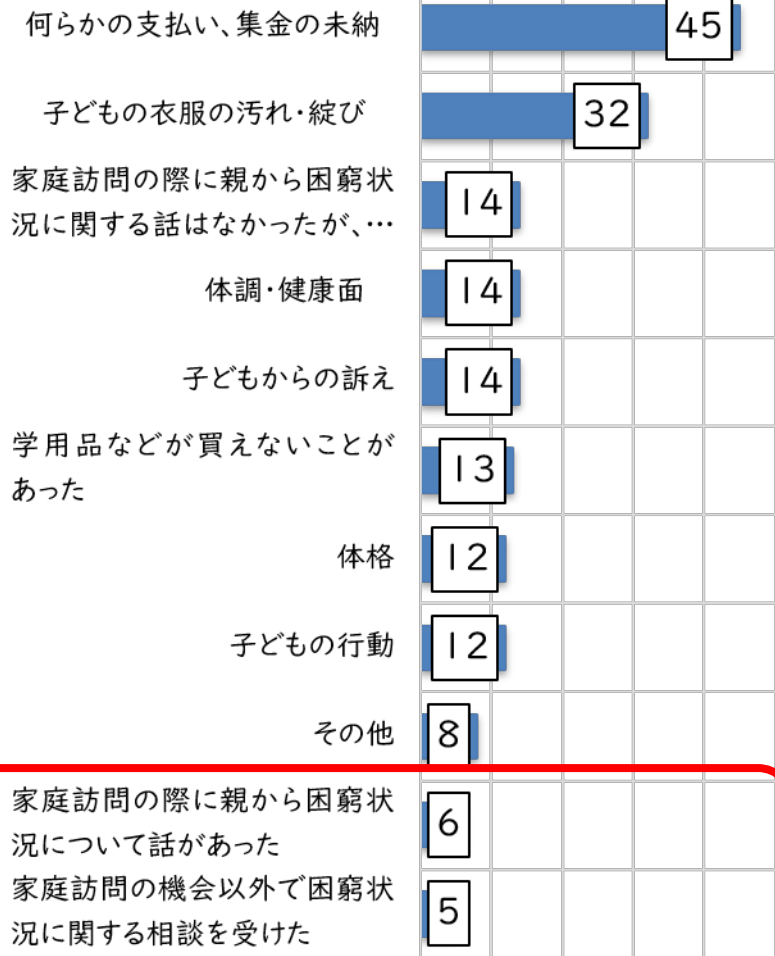
朝食を食べておらず、外へ遊びに行ったが、フラフラと部屋の方へ歩いて戻ってきて、テラスに倒れ込んだ。

保育料が引き落としする日に残高がないのか、毎月されず、後日園に保育料を持ってきて支払う。

学校現場から見える子どもの貧困

2016年教員へのアンケート調査

日 新 聞 2017年(平成29年)2月12日(日) 山梨 山梨 28



「昨年度以降、子どもが貧困状態にあると」が有効回答があった。3人(回収率72%)から複数回答で選んでもらったところ、最も多かったのは「支払い、集金の未納」の26%だった。これに「衣服の汚れ、ほころび」の18%が続いた。

さらに「貧困状態にある子どもを発見した時、学校として十分な対応ができていないと感じるか」と質問。五つ

アンケートは「フードバンク山梨」が昨年9月29日、10月20日に実施した。子どもの支援活動で関係の深い小中学校に、アンケート用紙を送った。計21人の教員のうち15人(回収率72%)から有効回答があった。「昨年度以降、子どもが貧困状態にある」と回答した。5割は「子どもが貧困状態にあると感じたことがある」と答え、教育現場の課題になっていることを改めて印象づけた。また「学校が対応できた」との回答は約3割にとどまり、十分に手を差し伸べられていない現状を浮き彫りにした。

アンケートは「フードバンク山梨」が昨年9月29日、10月20日に実施した。子どもの支援活動で関係の深い小中学校に、アンケート用紙を送った。計21人の教員のうち15人(回収率72%)から有効回答があった。「昨年度以降、子どもが貧困状態にある」と回答した。5割は「子どもが貧困状態にあると感じたことがある」と答え、教育現場の課題になっていることを改めて印象づけた。また「学校が対応できた」との回答は約3割にとどまり、十分に手を差し伸べられていない現状を浮き彫りにした。

「感じたことがあるか」を質問したところ、53%は「ない」と答えた。47%は「ある」と回答し、ほぼ半数の教員が、貧しさに直面する子どもの存在を目にしていることになる。

深刻な状況にあることに気付いた「場面・状況」を11の選択肢から複数回答で選んでもらったところ、最も多かったのは「支払い、集金の未納」の26%だった。これに「衣服の汚れ、ほころび」の18%が続いた。

さらに「貧困状態にある子どもを発見した時、学校として十分な対応ができていないと感じるか」と質問。五つ

の選択肢から選んでもらったところ、過半数の51%が「わからない」と答えた。次いで多かったのは「あまりできていない」

【藤河匠】

「子ども貧困」5割痛感

小中学校教員アンケート 学習意欲に影響も

貧困が子どもに及ぼす影響については、8割が「学習意欲が低い」と回答した。7割は「自己肯定感が低い」と答えた。

フードバンク山梨の米山けい子理事(63)は「子どもたちが貧困から脱出できるよう、より一層、学習支援にも力を入れた」と語る。そのうえで「活動には資金も欠かせない。行政だけでなく、多くの人たちに、この問題を理解してほしい」と話した。

対象教員数	回収数	回収率
212	153	72.2%

2016年10月 実施

2016年教員へのアンケート調査の記述より

運動靴がボロボロで、何年も使っているようであった。体育祭も近いので、他のはあるかと聞いたら「これしかない」と言っていた。

身体測定で、体重が増えていないまたは、低下している。

身体のごとれ、髪がからまり、ボサボサになっている。むし歯が多く、放置されている。（治療しない）

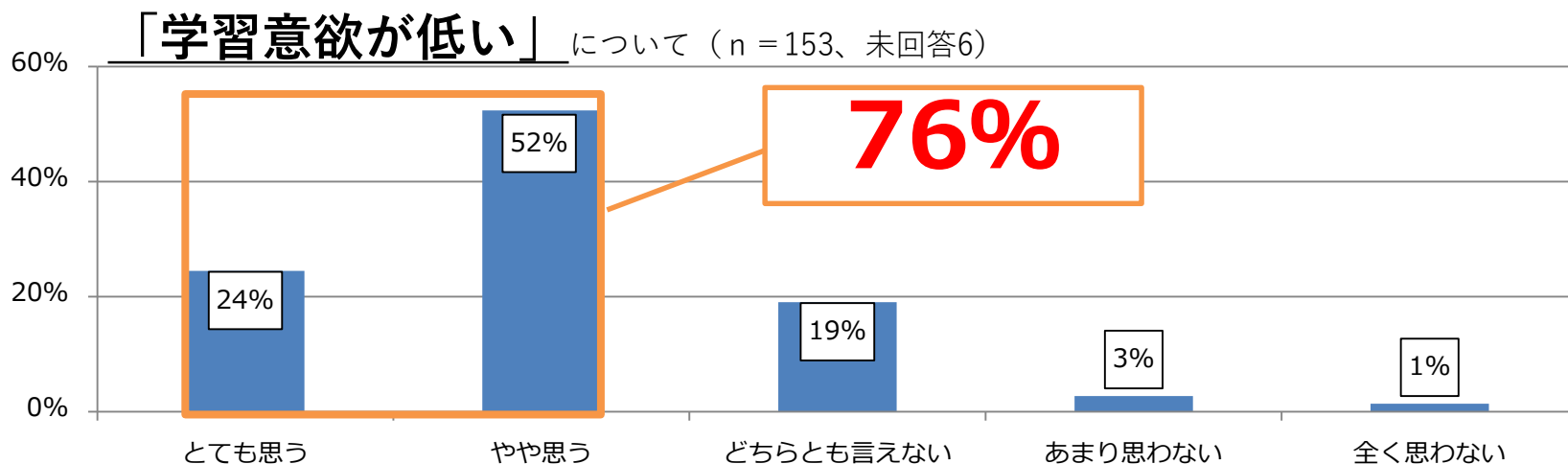
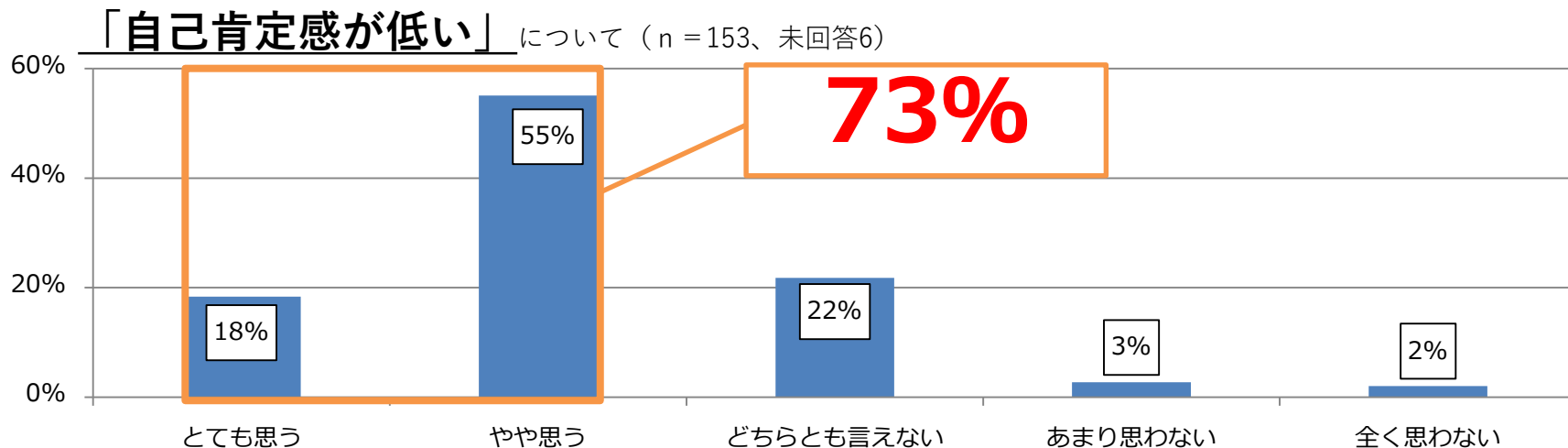
4月にはそろえることができず、少しずつ学用品をそろえている。

部活動の大会時、お弁当を持って来なければならない日の連絡を電話で話したところ、給料日前でお金がなく、つくれないので“欠席させる”という連絡があった。

弟妹にごはんを食べさせるため、自分はあまり食べない。

貧困が子どもにも与える影響

一般的に、貧困世帯（と思われる）子どもは、それ以外の子どもと比べて、以下の項目が当てはまると思いますか。



学習支援の必要性：えんぴつひろば & ももっ子クラブ

中央市...えんぴつひろば

南アルプス市...ももっ子クラブ

毎週土曜日に教員OBや学生が学習支援・居場所を提供し、子ども約1457人が参加



～マザーテレサのことば～

日本人はインドのことよりも、
日本の中で貧しい人々への配慮を
優先して考えるべきです。

愛はまず手近なところから始まります。